

基本理念

草加市立病院は、市民のいのちと健康を守り、地域医療の中核を担うことを使命とします。

草加市立病院

— 第17号 —

令和5年2月20日発行

発行 草加市立病院

編集 経営管理課

〒340-8560 草加市草加二丁目21番1号

☎ 048(946)2200(代)

ホームページ [草加市立病院](http://www.soka-city-hospital.jp) 検索

<http://www.soka-city-hospital.jp>

はじめに

2019年末から始まった新型コロナウイルス感染症の世界的流行(パンデミック)も4年目を迎えようとしています。政府は感染症法の位置づけを今年5月には2類から5類に引き下げる方針を発表しました。今後、感染対策や様々な制限が緩和されていく一方で、コロナウイルスの感染性や病原性がなくなるわけではありません。ワクチン接種など重症化リスクの高い高齢者への対策は必要です。

医療・介護の現場ではすべての団塊の世代が後期高齢者に達する2025年、高齢者人口がピークになる2040年を目前に控えて本格化する高齢社会の到来に備える必要があります。

今号ではポストコロナあるいはウイズコロナ時代の高齢化に備えての病院の取り組みについていくつかご紹介します。

まず、昨年本格稼働を始めた呼吸器外科と入退院支援のための患者サポートセンターについて、また骨折の2次予防に関する整形外科と地域医療機関との連携についてご紹介します。

一方、自然災害、特に南海トラフ地震や首都直下地震はいつ起こってもおかしくないと言われており、草加市も被災に備える必要があります。災害拠点病院としての当院の活動などについてもご紹介します。



草加市病院事業管理者 矢内 常人

患者サポートセンターがオープンしました！

はじめに

患者サポートセンターは、患者さんやご家族が療養生活に感じる不安を和らげ、安心して治療に専念できる環境づくりのお手伝いをするために本館2階外来エリアにオープンしました。

主な業務は、かかりつけ医の先生から当院をご紹介いただいた患者さんの受診調整に始まり、特に力を入れているのは、入院前から退院後を見据えた支援を提供することにより患者さんに安心して入院生活を過ごしていただくこと、また、退院後の療養生活への円滑な移行をお手伝いすることです。

主な活動の一部をご案内します。



地域医療連携 外来受診をサポート

検査が必要、緊急を要する、症状が重いなどの診断でかかりつけ医の先生から紹介(状)をいただいた患者さんがスムーズに受診できるよう、診療等の予約や受診調整をしています。

また、治療により症状が比較的安定した患者さんには、お近くのかかりつけ医等にお戻りいただく(逆紹介)のお手伝いもしています。

入退院支援 入院前・入院中・退院に向けたサポート

安心して入院いただけるよう患者さんへの事前説明をしています。併せて、患者さんに寄り添った対応ができるよう不安や疑問などもお聞きしています。

また、病棟では退院支援看護師と医療ソーシャルワーカーが協力して対応し、地域医療機関などと連携しながら退院に向けた在宅環境の調整や患者さんの意志決定などにも関わっています。

医療福祉相談 転院・福祉制度のサポート

医療ソーシャルワーカーが、地域医療



機関や行政機関、ケアマネージャー等と転院に伴う調整をサポートしています。

また、生活保護や医療費等の経済支援に伴う制度のご案内や関係機関等との調整もお手伝いしています。

患者相談 相談サポート

病気と向き合う中で感じた疑問や相談、直接伝えづらい質問や要望などを拝聴し、専従の看護師が必要なお手伝

いをしています。

また、セカンドオピニオンに関するご相談もお受けしています。

今後の展望

患者サポートに完成形はありません。常に発展中です。これからも患者さんにたくさんの安心が提供できるよう、少しずつではありますが一層の充実を図ってまいります。